



子育てしやすい利府町で、「こ・あきない」の夢を紡ぐ。

利府町の「ご自宅」で、洋服や布小物の制作・販売に励む鈴木さやかさんの取材にお伺いしたのは、利府町まち・ひと・しごと創造ステーション tsumiki で開催された「こ・あきない市2021年夏」。出店ブースには



お洋服と布小物 un peu(アンプ)

鈴木 さやかさん

1975年生まれ・鶴岡市出身

ご主人の転勤で仙台に移住。2008年にハンドメイドの洋服や布小物の制作・販売を行う「un peu(アンプ)」を立ち上げ。2009年に利府町に転居し、tsumiki(つみき)が開催する「こ・あきない市」には2017年の第1回目から参加。ナチュラルでキュートな作品は、多くのファンを魅了し続けている。

十符人

ーとふとー

「十符人(とふと)」では、毎月、利府の魅力づくりや魅力発信に貢献している方を取り上げていきます。

海外から取り寄せた布で作ったポーチや猫の首輪などの可愛い布小物、ラックにはリネンやコットンの肌触りがやさしい、着心地の良さそうな手づくりの服が並び、次々とお客様が訪れていました。「息子の幼稚園のジャンパーを作ったのをきっかけに、服づくりにすっかり夢中になって」と話す鈴木さん。やがてママ友とフリーマーケットやバザーなどで自作



「un peu(アンプ)」に訪れるお客様と接客する鈴木さん



「un peu(アンプ)」に並ぶ、鈴木さんの作品の数々

の服を販売するようになり、2008年には「un peu(アンプ)」として独立。ひとつひとつ丁寧に手作りされた作品はどれも好評でリピーターも多く、製作が追いつかないほどだといいます。2009年に利府町に転居し、本格的に仕事をスタート。「利府はアクセスが便利で、自然も豊か。子育て支援がとても充実していて、仕事との両立がしやすいですね」と鈴木さん。これからも、お客様に小さな幸せを感じていただける良い物を作り続けていきたいと目を輝かせます。tsumikiでは、「こ・あきない市」等を通して、クリエイターや起業家を支援。たくさんの方が自分の夢を育みながら活躍しています。

利府町公式Instagram



Instagram icon and handle: rifu_town



利府町公式Instagram「みやぎ利府歩き」では、利府町のあちこちを歩きながら、魅力的な風景や観光スポットなどを紹介します。皆さまもハッシュタグ「#利府歩き」「#りふあるき」をつけて、利府町の写真を投稿してくださいね。



投稿者 @yumi.11.17 さん
利府駅前のオリンピックオブジェが青空に映えてステキです！

投稿者 @nana.grandmother さん
紫がかった夕焼けで、宮城スタジアムが幻想的な雰囲気に。



Hashtag: #りふあるき

